

# 週刊金曜日

2009 11|27 777号  
毎週金曜日発売 定価500円

## 辻元清美が語る ハッ場ダム、JAL、政権交代

2009年11月27日 第1777号 毎週金曜日発売 定価500円



# 論争

## 世界の潮流と逆行する「仕分け」 国民を愚弄する漢方の保険給付は、 はずし

### 渡辺賢治

(わたなべ けんじ、慶應義塾大学医学部漢方医学  
センターセンター長)

一月二日の行政刷新会議事業仕分け作業で、漢方を含む一般用薬類似医薬品(OTC類似薬)を保険給付からはずす、という報道に耳を疑った。ワーキング・グループ2の作業班一五名のうちの一名がこれに賛成したというから驚きである。

この方たちは医療現場をご存知なのか? この国の医療をどうお考えで、今後の日本の医療の戦略がどうあるべきとお考えなのか? 何よりも漢方を保険給付からはずしたら困る患者さんが大勢いて、国民が困る、ということをお考えなのか? 漢方薬が大々的に医療用として登場したのは一九七六年のことであるから、すでに三二年間わが国の医療として根付いている。医師の七割以上が日

常診療で漢方を用い、がん医療の現場でも漢方が必要としている患者さんが多数いる。働く女性の月経困難症や更年期障害、月経前症候群などの女性医療も支えている。さらに高齢社会の腰痛、膝痛、前立腺肥大などに非常に有用である。

わが国においては一つの医師ライセンスのもと、西洋医学も漢方医学もできる、という点に特長があるが、漢方医学を保険給付からはずし、医師の手から離すということは、日本の一番の強みを否定することになる。そもそも漢方・ビタミン・湿布薬と一緒くたに議論されていた点に非常に違和感を感じる。漢方の臨床を身につけるためにどれくらいの時間を要するとお考えであろうか。二〇

〇一年の文部科学省の作成した医学教育モデル・コア・カリキュラムに入ったことで、今では八〇すべての医学部・医科大学において漢方教育がなされている。漢方専門医は日本専門医制評価認定機構に加入している専門医制度であり、内科・外科等の基本領域の専門医を取得した後、漢方専門の研修三年が義務付けられている専門性の高い医学なのである。

現在伝統医療は欧米を中心に世界中で見直されている。ICD(国際疾病分類)次回改訂に漢方を含む伝統医学を取りこむ計画もある。ICDは世界保健の基礎となっている統計の基盤であり、医療の根本だ。漢方を医師の手から引き離すことは世界の潮流とまったく逆行しているこ

とを知ってほしい。漢方の保険給付はずしの話は過去にも出ては消えてきた。日本東洋医学会では一九九三年には二週間で二四万名の署名を集めた。九四年には一四八万三二七六名の署名を集めた。今回の仕分け作業の結果に対して日本東洋医学会、日本臨床漢方医会、NPO健康医療開発機構、医療志民の会が中心になり、新たな署名活動を開始した。過去の一七二万名もの署名を無きものにしような横暴に対して国民の怒りを結集するつもりである。インターネット署名<http://kampo.unin.jp>。紙面署名のフォーラムも上記、また健康医療開発機構HP (<http://www.h-network.org>) からダウンロード可能。

## 株主となって東京電力に脱原発の提案を

市民運動グループの自己紹介欄です。連絡先(住所・電話番号)を含め15字×40行で「こんなこと、やっています」係宛にお送りください。掲載の場合は「連絡します」。

## こんなこと、やっています



私たち脱原発・東電株主運動は91年から毎年、株主総会に原発停止などの株主提案を提出している。グリーン電力料金、取締役人数削減など、総会では否決されたものの後に実現した提案もある。取締役報酬の個別開示には特に賛成が多く(24~33%)、五年続けて提案している。株主提案には一定数以上の株主の合意を集める必要が

あり、例年三千人近い株主に郵送でお願いし、合意者は三、四百人。従来、株主は合意書提出のみで提案に参加できたが、今年から株券電子化のため、提案には合意書提出の他、株主が各々の証券会社に手続き後、東電へ通知という煩雑な制度になった上、提案提出有効期間が、東電通知日から二週間以内と制限された。証券会社によっ

て東電通知日がまちまちなので、有効期間が二週間以内に収まるよう、何百人もの株主がタイミングよく手続きするのは至難の業。手続きに手数料がかかる証券会社も、提案の成立が危ぶまれた。一体、誰のための電子化だ。二週間と決めた法務省に、私たちが含む全国の株主運動が手続きの簡略化、有効期間の延長を要請し、

二週間から四週間へと変更させた。それでも手続きすると「そんなの知らない」「扱ってない」という証券会社が続出する始末。はたして株主提案を成立させることはできたのか!? 関心のある方、ご一報を。  
▼脱原発・東電株主運動  
todenkhabu@gmail.com  
<http://blog.fc2.com/todenkhabu/>